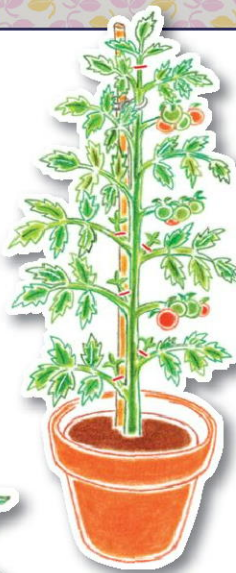




葉柄が短い  
大きなつぼみが付いている  
節の間に短い  
茎が太い

こんな苗を探すとニヤ



トマトを鉢で作る場合は、3、4段の実の房が付けば先端を摘み取り生長を止めるとしっかり実が付く。連続して実をとりたい場合は、先端を摘んだ頃に新しい株(鉢)を準備しておく



トマト、ピーマン、トウガラシは品種により完熟の色が変化する



ピーマンは完熟するとカラフルに〜んし〜ん!!

の芽が細く、葉の色が薄くなつたら必ず追肥を。実が熟すと株が弱るので、なるべく若い実で収穫する。



プレゼント

野菜の液肥 450%液・788円を10人に。コラーゲン由来のアミノ酸を配合。有機と無機の良さを一つにした野菜のための液体肥料。大きく丈夫な株を作り、おいしい野菜を育てます。23歳の応募要領で。プレゼント番号=30、賞品名=野菜の液肥 商品提供=ハイポネックス ジャパン ☎06-6396-1119 <http://www.hyponex.co.jp>



# 【ナス科野菜をコンテナで】

トマト、ナス、ピーマンなど、ナス科の果菜類はカラフルな実を付け、目も喜ばせてくれます。白いナスや世界一辛いと言われるハバネロなど、一度味わってみたいものばかり。コンテナ栽培で、とれたてを味わってみては？



キュートなハバネロ

### 【苗選び】

ナス科の果菜類は、最初の花に実が付かないと、枝に栄養が回ってあばれ、花が付きにくくなります。必ずつぼみの付いた株を選びます。大きめのポットの若々しい苗がベター。

### 【植え付け】

大半が垂熱帯育ちで寒さが苦手。暖かくなる4月後半〜5月上旬が植え付け適期。苗が手に入れば、7月上旬まで順次植え付けると、秋まで次々に良い実がとれます。ナスやトマトは8号(直径24cm)〜10号(30cm)の深めの鉢に1株植え。ミニトマト、ピーマン、トウガラシなど、実が小さいものは5号(15cm)でも大丈夫。市販の花や野菜用の土に植え付けます。大きくなる種類は、鉢底に石や砂利を入れ重くし、水はけを良くします。

### 【根詰まりを防ぎ、株の老化を避ける】

元気に大きく育てるコツは、5〜8〜10号と大きい鉢に根鉢を崩さず(根が抜けたポットの型の状態のまま)植え替えること。前もって大きな鉢に空き缶を縦に3個埋めておき、株が大きくなったら抜き、その穴に土と追肥を入れる方法でも、若い新しい根を増やせます。

### 【一番大事なのは仕立て方】

ナス科植物は、先端がしっかり強く育たないと実が付きません。基本は、先端の強い芽を残し、途中から出てくる弱い芽を取り除くこと。トマトはわき芽をすべてかき取り、1本仕立てに。ナスやピーマンは、主枝と一番花の上下の芽を残して、3本仕立てでも良いでしょう。

### 【その他のコツ】

◎実を付けるには日光が必要。日当たりの良い場所に。◎肥料を欲しがるので、追肥と水やりはまめに。先端